

もう迷わない！雑誌目録の作り方

1. 雑誌目録作成の基礎知識

< A. 準拠する目録規則 >

日本語, 中国語, 韓国・朝鮮語: 日本目録規則1987年版改訂2版(NCR87R2)
国立国会図書館「日本目録規則」適用細則
上記以外: 英米目録規則第2版1988年改訂版(AACR2R)
Library of Congress Rule Interpretations (LCRI)

< B. マニュアル >

適用するNIIマニュアルは以下のとおり。

<操作マニュアル>

- ・目録システム利用マニュアル 入門編 (検索および登録方法の詳細)
- ・目録システム利用マニュアル 第5版 (事例等)

<入力基準>

- ・目録システム利用マニュアル・データベース編「目録情報の基準」(データベースの構造, レコード作成単位, 文字入力原則, 分かち書き等)
- ・目録システム コーディングマニュアル(データ記述方法に関する全般, 項目一覧, データ記述文法等。ルーズリーフ形式で「NACSIS-CAT/ILL ニュースレター」の付録として継続配布中。)

<その他>

- ・NACSIS-CAT/ILL ニュースレター
- ・オンラインシステムニュースレター
- ・オンラインシステムニュースレター抜粋(システムの改善, 基準の解説, 検討・懸案事項等の決定報告等)
- ・NACSIS-CAT/ILL Q&A DB 目録所在情報サービスに関する質問書/回答書データベースシステム(参加館からの質問とそれに対する回答をWWWで参照できる)

上記マニュアルは, 目録所在情報サービスホームページから利用できる。

<http://www.nii.ac.jp/CAT-ILL/contents/home.html>

< C. 図書と雑誌の区分 >

区分の原則は, 資料の刊行方式による。資料種別は問わない。
終期を予定せずに逐次的に刊行され, 個々の出版物理単位を識別・順序付けする番号がある場合は雑誌として区分。各館の判断による。(「目録情報の基準 第4版」2.2.1)

< D. 和資料と洋資料の区分 >

準拠する目録規則は異なるが, データとして区分の別はない。

< E. 雑誌レコードの作成単位 >

- ・以下の場合はそれぞれ個別の書誌レコードを作成する。
 1. 本タイトルが異なるもの
 2. タイトルが総称的で, かつ責任表示が異なるもの

3. 版表示が異なるもの
4. 資料種別が異なるもの
5. 複製資料とその原本
6. 独自の巻号付けを持つ付録・補遺資料
7. 同時期に並列して異なる出版社から出版されたもの
8. 合冊誌・合刻複製版に収録されている各逐次刊行物
9. ISSN は同じであるが、タイトル、責任表示が異なるもの

・以下の場合は新規レコードを作成しない。

1. タイトルは変更されず、出版社が変更になったもの
*ただし、NOTE フィールドへは記載必要。
2. タイトルほか書誌事項がすべて同じで ISSN が異なるもの
3. タイトルほか書誌事項がすべて同じ売品と非売品のもの

< F. 書誌作成の基準とする号 >

初号主義：初号に基づいて書誌レコードの記述を行い、初号以降での変更事項は注記する。

- ・国際標準である。
- ・初号が入手できない場合は、初号最古号に基づく。
- ・情報源として初号に近いほど優先順位は高い。既存のレコードよりも初号に近い号を入手した場合は、修正を行う。
- ・初号以外での号に基づく場合は、その号について NOTE フィールドに注記する。
- ・初号の場合は NOTE に注記しない。

< G. タイトル変遷 >

ある逐次館個物のタイトルが変更になった時点で、その逐次刊行物は終期を迎え、新しい別の逐次刊行物が発生したとしてみなして、書誌レコードを別途作成する。

タイトル変遷の基準は、NACSIS-CAT においては 2006 年 1 月から改定を予定しているので注意すること。

タイトル変遷記載の注意点は II に別途明記する。

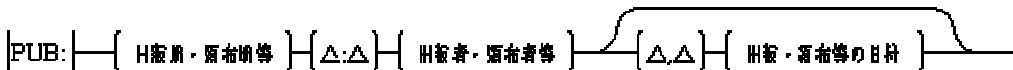
< H. 記述文法 >

III にて言及する VLYR フィールドおよび PUB フィールドの記述文法を以下に記す。

- ・ VLYR (巻次年月次: Volumes and Years of Serials)



- ・ PUB (出版・頒布等に関する事項: Publication, Distribution, etc., Area)



II. タイトル変遷時における作業注意点

次にタイトル変遷を発見した際に行う作業の中で、とりわけ注意が必要な点を列挙する。

< A. 前誌書誌修正作業の注意点 >

[A-0]

- ・ 現物から該当号が変遷直前号(終号)であることが判断できない場合は、前誌は修正しない。
- ・ 変遷直前号(終号)であることが確認できた場合は、前誌書誌を修正する。とくに以下の点に注意する。

[A-1] 変遷直前号(終号)の巻次年月次をVLYRフィールドに記入

- ・ 情報源は変遷直前号(終号)全体である。
- ・ 原則的に変遷直前号(終号)に表示されているとおりに記録する。
- ・ ハイフンに続けて記入する。
- ・ 「年月次」の記入を忘れないよう注意する。

例:[初号所蔵なし, 変遷直前号(終号)所蔵あり]

VLYR:-10巻12号 (平15.12)

例:[初号所蔵あり, 変遷直前号(終号)所蔵あり]

VLYR:Vol. 1, no. 1 (Jan. 1995) -vol. 5, no. 12 (Dec. 1999)

[A-2] 出版・頒布等の終了日付をPUBフィールドに記入

- ・ 情報源は変遷直前号(終号)の表紙, 標題紙, 背, 奥付である。
- ・ 情報源に出版・頒布等の開始年および月日まで記載されている場合は、月日まで記入しても良い(年月次とは異なることに注意する)。

例:[初号所蔵あり, 変遷直前号(終号)所蔵あり]

<変遷直前号(終号)奥付>

情報大学要覧 2003年度版

2004年3月発行

編集 情報大学

発行 情報大学

東京都千代田区...

東京 : 情報大学 ,1985. 4-2004. 3

例:[初号所蔵なし, 変遷直前号(終号)所蔵あり]

PUB: Westerville, Ohio : American Ceramic Society , -2004

[A-3] PUB フィールドに記載した出版・頒布終了年を, YEAR2 フィールドへ転記

- ・ 変遷直後号(終号)は所蔵しているが, 初号を所蔵していないため, 出版・頒布開始年がPUBフィールドに記入できない場合でも, 必ずYEAR1フィールドに「1---」と記入した上で, YEAR2フィールドへ出版・頒布終了日付に対応する西暦年を記入する(「1---」以外の値を推測で入力してはならない)。YEAR2フィールドのみ単独で記入できないことに注意する。

例:[初号所蔵なし, 変遷直後号(終号)所蔵あり]

YEAR:1--- 2005

例:[初号所蔵あり, 変遷直後号(終号)所蔵あり]

YEAR:1980 1995

[A-4] 変遷関係を NOTE に記入

- ・ NIIがBHNTフィールドに記入するまで時間を要するため, 注記に変遷関係を記入しておくとうい。

例:

NOTE:continued by: Journal of agricultural chemistry <AA99999999>

NOTE:継続後誌: 月刊バイオテクノロジー <AA88888888>

[A-5] 出版状況コードを変更する

- ・ PSTATを「c」から「d」へ変更しておく。

< B . 前誌所蔵修正作業の注意点 >

[B-1] 所蔵年次および所蔵巻次を, HLYRフィールドおよびHLVフィールドに記入

- ・ 巻次年月次(VLYR)とは異なることに注意する。

[B-2] CONTフィールドの受入継続記号を削除

< C . 後誌新規書誌作成作業の注意点 >

[C-0]

- ・タイトル変遷を発見した場合、変遷後誌の書誌を新規作成する。
- ・変遷直後号(初号)を所蔵しているか否かで、記入内容が異なる点があるため注意する。

[C-1] 変遷直後号(初号)の巻次年月次をVLYRフィールドに記入

- ・情報源は変遷直後号(初号)全体である。
- ・原則的に変遷直後号(初号)に表示されているとおりに記入する。
- ・「年月次」の記入を忘れないよう注意する。
- ・年月次の後にハイフンをつける。
- ・変遷直後号(初号)を所蔵している場合は必須入力であるが、変遷直後号(初号)を所蔵していない場合は入力できないので注意する。

例:[変遷直後号(初号)所蔵あり]

VLYR:11巻1号 (平16.1)-

VLYR:Vol. 6, no. 1 (Jan. 2000)-

[C-2] 出版地, 出版者をPUBフィールドに記入

- ・出版地および出版者の情報源は、変遷直後号(初号)の表紙、標題紙、背、奥付である。
- ・変遷直後号(初号)を所蔵していない場合は、所蔵最古号をもとに記述する。その際はNOTEに記述根拠号を記録する([C-5]参照)

[C-3] 出版・頒布等の開始日付をPUBフィールドに記入

- ・情報源は変遷直後号(初号)の表紙、標題紙、背、奥付である。
- ・西暦年で記入する。
- ・情報源に出版・頒布等の開始年および月日まで記載されている場合は、月日まで記入しても良い(年月次とは異なることに注意する)。
- ・変遷直後号(終号)を所蔵している場合は必須入力であるが、変遷直後号(終号)を所蔵していない場合は記入できないので注意する。

例:[変遷直後号(初号)を所蔵している場合]
<変遷直後号(初号)奥付>

さいたま市の経済 2004年

2005年3月発行
編集 さいたま市
発行 さいたま市
さいたま市浦和区常磐...

PUB:さいたま : さいたま市 , 2005. 3-

例:[変遷直後号(初号)を所蔵している場合]

PUB:New York : Institute of Electrical and Electronics Engineers , 2005-

例:[変遷直後号を所蔵していない場合]

PUB:さいたま : さいたま市

PUB:New York : Institute of Electrical and Electronics Engineers

[C-4] PUBフィールドに記載した出版・頒布開始年を, YEAR1フィールドへ転記

- ・変遷直後号(初号)を所蔵していない場合は, 「1---」を記入する。推測で「1---」以外の値を入力してはならない。
- ・西暦4桁の後にハイフンはつけない。

例:(変遷直後号を所蔵している場合)

YEAR:2000

例:(変遷直後号を所蔵していない場合)

YEAR:1---

[C-5] 変遷直後号を所蔵していない場合は、記述根拠号の巻次・年月次をNOTEに記入
・年月次の記入を忘れないよう注意する。

例:

NOTE:記述は21巻3号(平17.3)による

NOTE: Description based on: Vol. 6, no. 2 (Feb. 2005)

[C-6] NOTEに変遷関係を記入

・NIIがBHNTフィールドに記入するまで時間を要するため、注記に変遷関係を記入しておくが良い。

例:

NOTE:continues: Journal of agriculture <AA0000000>

NOTE:継続前誌: 日本生物学会誌 <AA11111111>

< D . 後誌所蔵作成作業の注意点 >

[D-1] 所蔵年次および所蔵巻次を、HLYRフィールドおよびHLVフィールドに記入
・巻次年月次(VLYR)とは異なることに注意する。

[D-2] 必要に応じCONTフィールドの受入継続記号を記入

< E . 変遷報告作業 >

[E-1] 変遷注記用データシートを作成

[E-2] あれば変遷直前号(終号)と、変遷直後号(初号)または所蔵最古号の情報源を用意

[E-3] [E-1]と[E-2]を併せてNIIへ送付

(津久井記)

コラム <NOTE の記述具体例>

雑誌の場合、何か変更があると NOTE に変遷を記録していくが、変遷を記述する際に実際の記入具体例を探すことに手間取る場合がある。その際は NACSIS-CAT に参加組織ごとの「総合目録個別版データ」を NII からデータを CAT-P 形式で提供してもらえるので、そのデータを MS-Access で加工して NOTE データを抽出し、具体的記入例として活用する。手順の概略は次のとおり。

NII からダウンロードした雑誌データを所定場所に解凍する。
データを1行の文字列として MS-Access にインポートする。
アクセスのクエリーで文字列に Like "note=" とセットしてデータを抽出する
テキストにエクスポートしてテキストエディター等で検索して利用する。

総合目録個別版データの提供については、NACSIS-CAT/ILL ニュースレター16号(2005/03/25)を確認してください。

(磯野記)